



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」
 発行所
 (財)日本友愛青年協会
 〒112-0002
 東京都文京区小石川
 1-10-13 小石川ビル2階
 TEL:03-5684-3188
 FAX:03-5684-3186
 E-mail:yuai@qj8-so-net.ne.jp
 http://www.yuaiyouth.or.jp
 発行人：川手正一郎
 編集人：中川 治男
 隔月1回 10日発行
 購読料
 年額 3,000円

平成十九年度特別企画第三弾

井上和子副理事長友愛を語る

ドイツ社団法人日本語普及センター 石登紀子理事長と対談 出会いを大切に、国際感覚・国際的視野でこれからの「友愛」を

八月二十一日(火)港区青山にある井上和子副理事長宅で、平成十九年度「友愛」特別企画第三弾の対談が行われた。今回は、井上和子副理事長の大学時代からのご友人で、現在はドイツ社団法人日本語普及センター理事長として精力的な活動を続けておられる石登紀子さんに「登場いただき、国際的な視野からの「友愛」を語っていただきたい。」

井上和子副理事長と石登紀子さんは、「大親友」と口を揃えておっしゃる仲。ドイツに居を移して活動を続ける石登紀子さんは、休暇の時のみ帰国できる。その帰国中には必ず会う旧交を温め合っているとのこと。話題の進捗も絶妙、「旧友同士」ならではの、まさに息の合った対談となった。

はじめに

国際的に活躍の、石登紀子さんを紹介します。

井上 短い休暇のなかの大切な一日を、この対談のために割いていただいております。ありがとうございます。

石 私でお役に立てるの、心配だね。

井上 「友愛」については、由紀夫と邦夫が既に十分にお話しているし、私は「友愛について」と、堂々とお話できるようなことをしてないの、今日はお話ししたいと思っています。国際交流も大切な「友愛」の事業の一つだから、石さんのお話の中から「友愛」ならではの方向性が見つかるの

では、お話を伺っています。石の活躍なんて、私は主人の仕事の関係でアメリカでの生活が長かったから、帰国した後、その経験を活かして、外国人に日本語を教える仕事をしてみよと、いわば専業主婦が四十歳にして脱皮したわけ。その延長線上に現在の活動があって、今はドイツに住む程、どっぷり浸かってしまっているけど。(笑)

「公害」を問題提起

邦夫も、石教授のお話の重要性を力説しています。

石 主人は子供の頃から植物が好きで、牧野富太郎博士の最後の弟子なんです。そういう目でみると、今の世の中、空も水も土も変だ。疑問を感じていたらしく、記者時代に住んだ富士宮市でいわゆる「公害」を問題として取り上げ続けていました。

井上 今では「公害」とい言葉も使われなくなっている環境問題です。邦夫も「環境問題」には早くから取り組んでいたのよね。私が聞いた石教授の勉強会に飛んできて、「今度国会議員が開く環境問題の勉強会

では、お話を伺っています。石の活躍なんて、私は主人の仕事の関係でアメリカでの生活が長かったから、帰国した後、その経験を活かして、外国人に日本語を教える仕事をしてみよと、いわば専業主婦が四十歳にして脱皮したわけ。その延長線上に現在の活動があって、今はドイツに住む程、どっぷり浸かってしまっているけど。(笑)

なりたい」と思ったそうだから、外国に出て日本を見るということ、大切なことなんです。石さんも、長い外国生活の経験から、外国で日本を紹介したいと思われたの？

石 最初は外国暮らしの経験を活かして、日本語の教師になったのだけど、視線はアメリカに向けていて、まさかドイツに住むようになったとは思っていません。日本語教師をしているときの友人が「ドイツに日本語の学校を創りたい」というので、お手伝いできればと思って参加したのだけど、フランクフルトで教科書を作ったり、建物の手配をしたりしているうちに離れられなくなつて、井上和子さんはそれ程魅力的だったということ？

石 もちろんドイツの魅力もあつたのだけれど、私をここまで留めたのは、むしろドイツの人達の「親日観」だったと思う。日本人でも外国人のような感覚、国際的な方もいらっしゃるのと同じ様に、ドイツの方の中には、まるで日本人のような心根の方もいらして、感動したり、感心したり。

世界への好感度

「日本人は親切」というのが、国際的評価です。

井上 三月に発表されたBBCが行った国際世論調査の結果では、日本の好感度はカナダと並んで一位なの。主要十二カ国とEUについて、二十七カ国、二万八千人を調査対象にして行われたなかで、日本が一位というのは、とても喜ばしいことでしょう！

石 ドイツでも国内を訪れる外国人観光客で、どの国の人々が好感度が高いかと調べると、日本人が断然一位

井上 私の主人もドイツも好きでした。「ファウスト」を語っているほど精読して、「この本にも伏せ字はあるんだよ」なんて教えてくれたり(笑)自分の研究のヒントを「ファウスト」のなかに見つけたと言って大喜びしたり。

石 日本にもドイツ好きの方は多いけれど、ドイツでは、親日家が増えているの。というの、研修で日本を訪れた若者たちは、全員が「日本大好き！」と帰って来るの。嬉しいね。

井上 本当に、その頃は邦夫も、そして由紀夫まで政治家になるなんて思ってもいなかった。邦夫は早くから取り組んでいたのよね。私が聞いた石教授の勉強会に飛んできて、「今度国会議員が開く環境問題の勉強会



井上和子副理事長と石登紀子理事長

十一月のことを霜月(しもつき)と言つて、いろいろある気象現象のうちで、私は霜がもつとも好きだ。霜は「おきる」とか「結ぶ」といわれる通り、その現象には雨や風のような騒々しさが無い。静かに庭や松葉などに「うっすら」と白く降りていく。陽があたると「ころころ」溶けて、湯気がうっすらとぼる。すべて首もなく消えて行く。もつとも、この原稿を認めている今は十月で「神無月」(かみなづき・かんづき)である。すべての月が自然現象を基礎として別称をつくっているのに、この月だけは、神様が関わっている。伝えられるところではこの月に「すべての神々」が出雲(いずも)にお帰りになさると、それ故、出雲地方では逆に「神在月」(かみあづき)と出雲以外にある神様は「お留守」であるから、お参りする人は建物に向かっ

てお参りしていることになり、散歩道の目印として神社や仏閣を見ながら歩いている。しかし、十月になつてからお参りしている人がいないとか、参拝者の数が減つているということも無いようで、日本人の宗教様式はかなり形式化しているということだろうか。

仏教もまた同様で、例えば長野の「善光寺」には、どの宗派の人がお参りしても良いという。禅宗や浄土宗など多くの宗派があつても、このことは認められて

いるというから、仏教も同じということか。(えい)

井上 一人一人が出会つ、一人一人の方が、大切ですよ。そういう意味でも出会って大切ですね。

石 私がドイツで日本語普及センターと出会つたように、あなたは「友愛」と出会つて、活動を続けてこられたのですね。お祖父様

井上 一人一人が出会つ、一人一人の方が、大切ですよ。そういう意味でも出会って大切ですね。

石 私がドイツで日本語普及センターと出会つたように、あなたは「友愛」と出会つて、活動を続けてこられたのですね。お祖父様

井上 一人一人が出会つ、一人一人の方が、大切ですよ。そういう意味でも出会って大切ですね。



井上和子副理事長



石登紀子理事長

平成十九年度文部科学大臣奨励賞

第18回 友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会出場者決まる!

「本年度より聴衆者賞」を新たに制定



(財)日本友愛青年協会が主催する「友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール」は、本年第十八回目の開催となる。回を重ねる毎に、その知名度を増し、また若き音楽家にとつての「登竜門」として注目を集めるようになってきている。

今年度は、そうした状況を反映して、全国各地から、六十名(内学生の部は七名)という例年通り、多数の応募者を得た。

第一次予選は、十月二十四日(水)文京区にある、文京シビックホールにて行われた。午前十時半から午後八時までという長時間におよぶ長丁場を、七人の審査員の方々が熱心に審査を続けてくださった。結果、第一次予選通過者として二十八名が選ばれた。

第二次予選は、十月二十八日(金)第二次予選が、旧東京音楽学校楽室で開催された。歴史的建造物として特別に保存されている「旧奏楽堂」は、建物の佇まいはもとより、扉、窓ガラス、ドアノブに至るまで、歴史の醸し出す荘厳さに満ちている。

第二次予選に出場した二十八名は、旧奏楽堂の雰囲気にも應ずることなく、堂々とした歌声を披露、晴れ晴れとした表情で、審査員による審査の結果を待った。

午後八時、二次予選通過者十名が発表された。旧奏楽堂前では、喜びの電話をかける者、涙くむ者と、悲喜こもこものドラマが繰り広げられた。

見事二次予選通過の十名は、十一月五日(水)同じく、「旧奏楽堂」で開催される本選会に出場する。

本選会出場者 学生の部

- ・佐藤優子
- ・東京音楽大学四年在学中
- ・山崎春奈
- ・東京芸術大学四年在学中
- ・一般の部
- ・吉川かおり
- ・国立音楽大学大学院修了
- ・布施奈緒子
- ・東京芸術大学大学院在学中
- ・大野美沙

洗足学園音楽大学大学院修了

- ・岩田友里
- ・東京芸術大学大学院修了
- ・老田裕子
- ・大阪音楽大学大学院修了
- ・大道和世
- ・国立音楽大学卒業
- ・石井 藍
- ・ウィーン国立音楽大学修了
- ・清水俊徳
- ・京都市立芸術大学卒業
- ・審査員(順不同・敬称略)

特別寄稿

友愛精神で、さらなる国際平和交流事業を

本協会評議員／中央青少年団体連絡協議会理事 萩原直三



中央青少年団体連絡協議会

去る六月二十二日、第四十回社団法人中央青少年団体連絡協議会(以下、中青連)総会及び第五十八回理事

会において、「友愛」としては十一年ぶりに、「理事」に就任することになった。

会長には、宇宙戦艦ヤマトでも知られる、(財)日本宇宙少年団の松本零士氏が引き続き就任された。

すでにこの案内のように、中青連は、わが「友愛」をはじめ、先の日本宇宙少年

団、YMCA、YWCA、ユースホステル協会、BBS連盟、モロロジィ研究所青年部、日本青年団協議会、日本キャンプ協会、修養団、日本都市青年会議、日本青年協会、日本ウォーキング協会、ガールスカウト、全国子どもも会連合会、日本赤十字(青少年赤十字)、ポイスカウト、ハローモニーセンターなど、全国組織を有する青少年団体によって構成される、わが国の青少年社会教育を代表する協

議会でもある。そのネットワークには、青少年育成国民会議、日米地域間交流推進協会、世界青年会議(WAY)、アジア地域青少年団体協議会(AYC)などがある。主な活動としては、各団体の情報交換や相互協力及びその調整があるが、国際交流事業とりわけアジアを中心とする、例えば、「日韓・日中の青少年指導者派遣」や、「タイ・ベトナム交流事業」、「アジア地域派遣

「インドネシア・タイ・マレーシア」の「青少年少女自然体験交流事業(ミクロネシアへの派遣)」などに力を注いでいる。なお、「ブラジル派遣」や、「ヨーロッパ平和の旅派遣」、「日独青年指導者セミナー派遣」などもある。

詳細は省くが、中青連の「原型」は、戦後間もない昭和二十六年、まだGHQの占領下にあった時代に、「WAY」の第一回総会が「コネル大学」で開催されたときに、日本から六名の(オブザーバー)参加があったことに始まる。

わが「友愛」は、昭和三十六年に入会することになったのだが、それは、「友愛」は政治性が強いなどという誤解や偏見のもとに、真の友愛思想が理解されずに行っている。

たことによる。と同時に一方では、真の友愛思想が理解されないまま入会するなどということ、そのブランドが許さないといつて、あえて入会を見送っていた経緯がある。

しかし、昭和二十九年の「国際ユースキャンプ」が友愛の提唱によって開催されたこと、またそれが「個の尊厳」に基づく「相互尊重・相互理解・相互扶助」という「友愛精神」の真髓に基づいて実践されたことなどによって、広く友愛が理解されるに至った。

因みに、この「国際キャンプ」の実施にあつては、「友愛」の奥田吉郎理事が中心となって活躍された。そして「国際キャンプ」は現在も引き継がれている。

「友愛」としてのこれから前後するが、昭和三十七年以降の「東南アジア使節団」の果たしてきた、いわばアジア平和と青年民間外交の実績、さらには、昭和五十三年の鳩山邦夫先生の訪中から始まる友愛(後の「中華全国青年連合会」と

「友愛」を確実に国際平和促進事業を展開してきた。近年の中国緑化事業は、その大きな成果でもある。JICA等からの受け入れ事業も数知れない!

その意味からも、中青連で中心的な役割を担ってきた友愛が、その「理事職」として復帰したことの意義は大きいものと自負している。

さらに自立と共生の友愛精神をもって、アジアの安定・世界の平和に貢献するために、七月からは国際交流委員会の委員に加わることとなった。





友愛クラブ設立四〇周年記念会開催

「友愛」出身国会議員を迎え、賑やかに・和やかに



「友愛」出身の海部俊樹代議士・鳩山由紀夫代議士・鳩山邦夫法務大臣・吉川貴盛代議士を囲み記念撮影

九月十二日(少友愛クラブ設立四〇周年の記念会がパレスホテルダイヤモンドの間において開催された。友愛クラブメンバー多数集う中、「友愛」出身の国会議員も多数訪れ、盛会となった。

「友愛クラブ」は、鳩山一郎先生の薫陶を受けた「友愛青年同志会」の会員が、「三十五歳卒業」の後有志が集い結成したもので、昭和四十二年に発足し

た。発足以来毎月一回(第二水曜日・正午から)例会を開き、様々な分野の専門家を招いて「卓話会」を開催している。

記念会開催のこの日は、折しも衆議院本会議の二日目にあたっており、国会議員各位は、記念撮影に納まった後、国会へと向かった。その一時間後、「安倍総理辞任表明」のニュースが飛び込み、クラブメンバーも驚きを隠せなかったが、その後

の後森喜朗元総理からの祝電も披露され、何時も通り、友愛クラブならではの「旧知の仲間」の和やかさが漂い、話も尽きなかつた。名残惜しさが残るなか、定刻を以て閉会となった。

出席の友愛出身国会議員(順不同)

海部俊樹元総理大臣・渡部恒三元衆議院副議長・鳩山邦夫法務大臣・鳩山由紀夫民主党政幹事長・吉川貴盛代議士・岩屋毅代議士・小川勝也参議院議員(代理)

………

人生十五年ごとの改進黨

友愛クラブ四十年を迎えて思いました。

「友愛青年同志会」が三十五歳までが「青年」というのをひいて、青年活動を後進に託し、仲間精神と人生をもっと勉強しようという「友愛クラブ」が発足されました。それから四十年

思えばOBになってからの人生の方が長いことになりました。当時の同志会のメンバーは七十五歳以上になっています。

省みれば、青年活動を一生懸命やったと思っていま

したが、それは十五・十六年の間で、青年活動はその時代によって異なるものですが、四十年前の青年活動を「動」とすれば、近年

は「静」の時代と思えます。それだけ日本は平和な国と

なっています。

………

………



海部俊樹元総理大臣(写真左)と渡部恒三元衆議院副議長(写真右)

幼児時代の五・六年を除けば六歳・二十歳は社会へ出るための基礎準備。二十歳・三十五歳は夢多き青年で、社会人になり結婚してかわいいう子供ができて経済的に不安あれども楽しい良き時代であります。三十五歳・五十歳は子供の教育、住居の手配など、苦勞の壮年時代であり、五十歳・六十五歳は熟年期ながら第一次社会人を卒業する「定年」であり、いわゆる「老後」の心配をし、六十五歳

・八十歳は初老期(?)の人生を迎えるのが、一般の人生と思えます。つまり十五年周期で改進しているものと思われま

す。かく言う私は、自分が今堅実にその周期をこなしているか、顧みの時期としておきましょう。

友愛婦人会だより

「論語」の会大盛況

音読・解説・元気な声溢れる教室



全員で声を揃えての音読。溝本先生のはっきりした声が、素晴らしい道しるべ

友愛婦人は、本年七月より「論語を学ぶ会」を開催、多くの受講者を集め、毎月一回の講義の日には、教室中に元気な音読の声が響いている。



全員が真剣な眼差し。もちろん居眠りする人など一人もいない!

この会は、湯島聖堂、傳通院など文京区内で開催されていた「文の京」でも論語塾の講師、溝本定子先生を招き、開催されている。「仮名論語」を教科書に、論語の音読、解説等充実した内容で論語に親しみ、論語の精神に迫っている。

の申し子といっても良い方である。全国各地で、こどもにも解る論語の解説を実践、好評を博している。その通る声、はっきりした口調で、「師曰わく」と音読を指導、応えて全員が元気な声で音読する。参加の婦人会員は、さながら学生時代に戻った如く、教科書を立て、前を向き、凛とした姿勢で音読を続ける。声も、表情も輝いている。「脳を鍛える」で有名な川島隆太教授は「音読」がもっとも手軽にできる脳活性化の有効な手段であると唱えている。



大きな文字でふりがなを付し、だれでも論語に親しめるように編集された教科書

楽しみながら、脳の活性化にも有効で、「論語」という素晴らしい知識が身に付くこの会は、今後ますます充実した力を発揮することとなる。

現在、第一学期を十一月に終え、第二学期に向けて充電中である。

軽井沢友愛山荘 3月末まで冬季休業に入ります



「軽井沢友愛山荘」は、十二月一日より冬季休業に入ります。本年も大勢の皆様にご利用いただき、誠にありがとうございました。お借りして厚く御礼申し上げます。

また、ご利用の皆様から、「親切にしてください」「清潔な環境で良かった」など、沢山の好評をいただきました。こちらはまた御礼申し上げます。

来年度は、四月一日に開館致します。ご予約の受付は一ヶ月前から始めますので、是非、来年もご予約、ご利用ください。お待ちしております。お問い合わせは、事務局まで。

「友愛ドイツ歌曲コンクール」の予選会も開催されました。音楽の殿堂「旧奏楽堂」で、来年の予選会、本選会も開催したいと、一年先の予約抽選会に臨みましたが、結果は、難関突破で確保! 思わずヤッターです。今年は、十一月五日開催の本選会、皆様のご来場をお待ちしております。

「芸術の秋」たけなわ。各地の美術展も盛況です。「友愛ドイツ歌曲コンクール」の予選会も開催されました。音楽の殿堂「旧奏楽堂」で、来年の予選会、本選会も開催したいと、一年先の予約抽選会に臨みましたが、結果は、難関突破で確保! 思わずヤッターです。今年は、十一月五日開催の本選会、皆様のご来場をお待ちしております。

「あ」と言う間もあればこそ、気がつけば十月、年賀状のCMが流れ、いやが上にも急ぎ立てられまく、片々自然界の歩みは遅く、木々の色づきは見られませんが、人間界も、自然界に倣って、「ゆっくりズム」で、イヤ、この自然現象は人間が起こした悪さの故、基本的な自然との共生を考えなくては、ですね。(モ)

六十二年前敗戦国日本は、焼け野原、食料も物資も住む家さえ無かった。しかし日本復興のため、思想は異なれど全国各地で青年が集い、青年会(団)が生まれ、活躍してきた。経済は飛躍的な復興をとげ、海外の青年と交流をもち、世界平和のための活動を始める時代がきた。しかし、現在の日本は、平和ではあるが危機感が薄い。現代の若人から、「友愛」としてこのような活動をして欲しい、あるいは実行したいと活動の提案がされることを望んでいる。何時でも事務局までご連絡いただき(事務局長 中川)

